

【総人口データを使った都道府県別・年齢区分別による推移状況】

マップソリューションでは、人口に関するデータを幅広く取り扱っています。

人口から推計される、患者数や要介護者数、最近では障がい者数などのデータも作成し、提供しています。

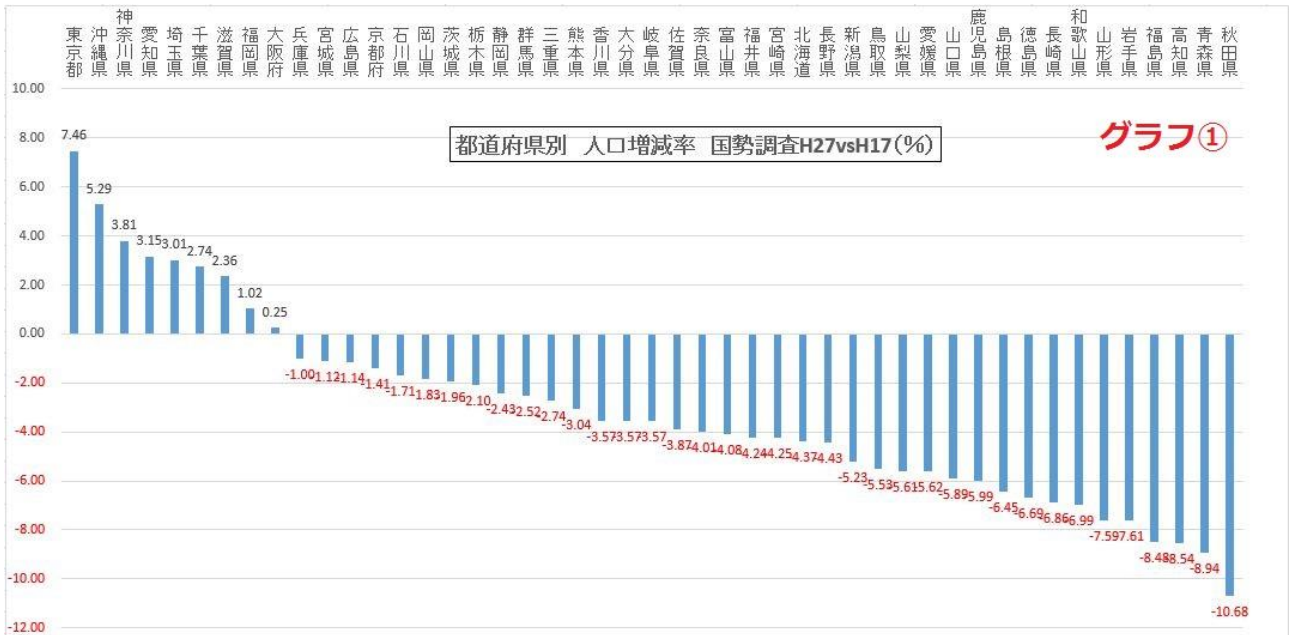
地域状況を把握するために、まず必要としているのは、地域の人口情報です。

弊社では、5年毎の国勢調査人口ベースでのデータを蓄積していき、今回は最新のH27年版から過去H22年、H17年のデータに基づくトレンドと都道府県別の分析を行った結果を報告します。

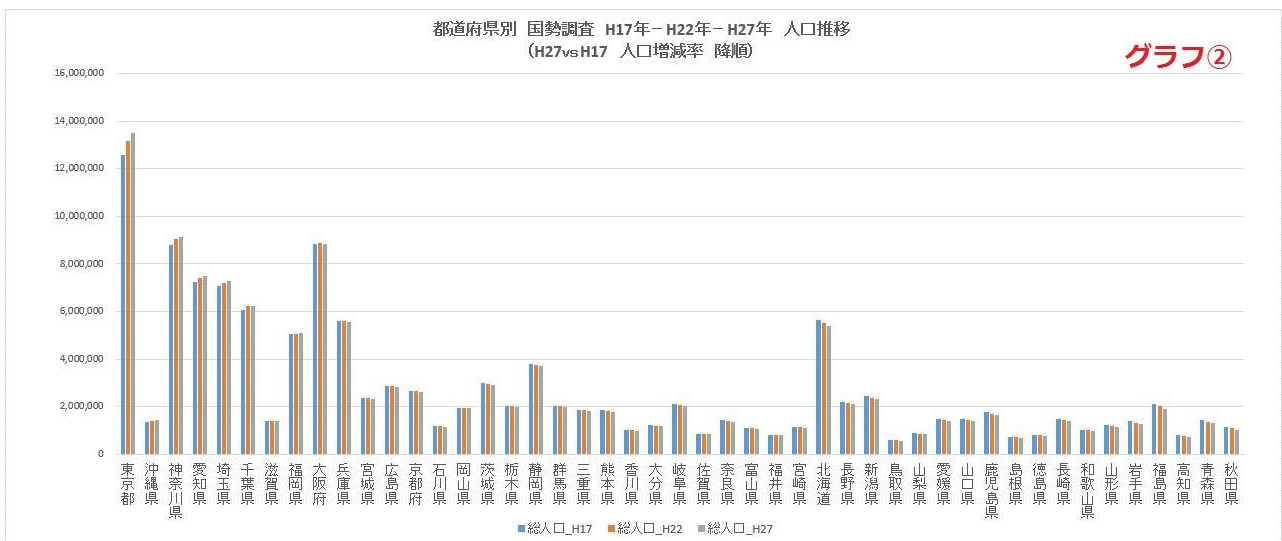
都道府県コード	都道府県名	人口増減率 H27vsH17 (%)	人口増減 H27vsH17	総人口_H17	総人口_H22	総人口_H27	総年齢	平均年齢
13	東京都	7.46	938,670	12576601	13159388	13515271	585905519	43.4
47	沖縄県	5.29	71,972	1361594	1392818	1433566	58932838	41.1
14	神奈川県	3.81	334,617	8791597	9048331	9126214	402454965	44.1
23	愛知県	3.15	228,424	7254704	7410719	7483128	324541324	43.4
11	埼玉県	3.01	212,291	7054243	7194556	7266534	323226793	44.5
12	千葉県	2.74	166,204	6056462	6216289	6222666	278554467	44.8
25	滋賀県	2.36	32,555	1380361	1410777	1412916	61546727	43.6
40	福岡県	1.02	51,648	5049908	5071968	5101556	227964954	44.7
27	大阪府	0.25	22,303	8817166	8865245	8839469	394425095	44.6
28	兵庫県	-1.00	-55,801	5590601	5588133	5534800	251357123	45.4
04	宮城県	-1.12	-26,319	2360218	2348165	2333899	104478907	44.8
34	広島県	-1.14	-32,652	2876642	2860750	2843990	129289908	45.5
26	京都府	-1.41	-37,307	2647660	2636092	2610353	117148298	44.9
17	石川県	-1.71	-20,018	1174026	1169788	1154008	52548442	45.5
33	岡山県	-1.83	-35,739	1957264	1945276	1921525	87565506	45.6
08	茨城県	-1.96	-58,191	2975167	2969770	2916976	133113301	45.6
09	栃木県	-2.10	-42,376	2016631	2007683	1974255	90092543	45.6
22	静岡県	-2.43	-92,072	3792377	3765007	3700305	170924869	46.2
10	群馬県	-2.52	-51,020	2024135	2008068	1973115	90851270	46.0
24	三重県	-2.74	-51,098	1866963	1854724	1815865	83385457	45.9
43	熊本県	-3.04	-56,063	1842233	1817426	1786170	83471468	46.7
37	香川県	-3.57	-36,137	1012400	995842	976263	45424698	46.5
44	大分県	-3.57	-43,233	1209571	1196529	1166338	55265562	47.4
21	岐阜県	-3.57	-75,323	2107226	2080773	2031903	93635089	46.1
41	佐賀県	-3.87	-33,537	866369	849788	832832	38389616	46.1
29	奈良県	-4.01	-56,994	1421310	1400728	1364316	63267564	46.4
16	富山県	-4.08	-45,401	1111729	1093247	1066328	50628970	47.5
18	福井県	-4.24	-34,852	821592	806314	786740	36393629	46.3
45	宮崎県	-4.25	-48,973	1153042	1135233	1104069	51894228	47.0
01	北海道	-4.37	-246,004	5627737	5506419	5381733	255920556	47.6
20	長野県	-4.43	-97,310	2196114	2152449	2098804	99315551	47.3
15	新潟県	-5.23	-127,195	2431459	2374450	2304264	110055925	47.8
31	鳥取県	-5.53	-33,571	607012	588667	573441	27120846	47.3
19	山梨県	-5.61	-49,585	884515	863075	834930	38878492	46.6
38	愛媛県	-5.62	-82,553	1467815	1431493	1385262	65535335	47.3
35	山口県	-5.89	-87,877	1492606	1451338	1404729	67788071	48.3
46	鹿児島県	-5.99	-105,002	1753179	1706242	1648177	77660765	47.1
31	鳥取県	-5.53	-33,571	607012	588667	573441	27120846	47.3
19	山梨県	-5.61	-49,585	884515	863075	834930	38878492	46.6
38	愛媛県	-5.62	-82,553	1467815	1431493	1385262	65535335	47.3
35	山口県	-5.89	-87,877	1492606	1451338	1404729	67788071	48.3
46	鹿児島県	-5.99	-105,002	1753179	1706242	1648177	77660765	47.1
32	島根県	-6.45	-47,871	742223	717397	694352	33574587	48.4
36	徳島県	-6.69	-54,217	809950	785491	755733	36214105	47.9
42	長崎県	-6.86	-101,445	1478632	1426779	1377187	65261618	47.4
30	和歌山県	-6.99	-72,390	1035969	1002198	963579	46224635	48.0
06	山形県	-7.59	-92,290	1216181	1168924	1123891	54419742	48.4
03	岩手県	-7.61	-105,447	1385041	1330147	1279594	61699721	48.2
07	福島県	-8.48	-177,280	2091319	2029064	1914039	90270941	47.2
39	高知県	-8.54	-68,016	796292	764456	728276	35605010	48.9
02	青森県	-8.94	-128,392	1436657	1373339	1308265	62924338	48.1
05	秋田県	-10.68	-122,382	1145501	1085997	1023119	51512089	50.3
	全国合計	-0.53	-673,249	127767994	128057352	127094745	5766661457	45.4

<都道府県別での人口の推移>

平成 17 年～平成 27 年の 10 年間の人口増減率を算出し、
 人口増減率を降順に並べた「グラフ①」、
 人口増減率の降順に平成 17 年・平成 22 年・平成 27 年の 5 年毎の「人口グラフ②」、
 増減率で作成した「主題図③」を作成しました。



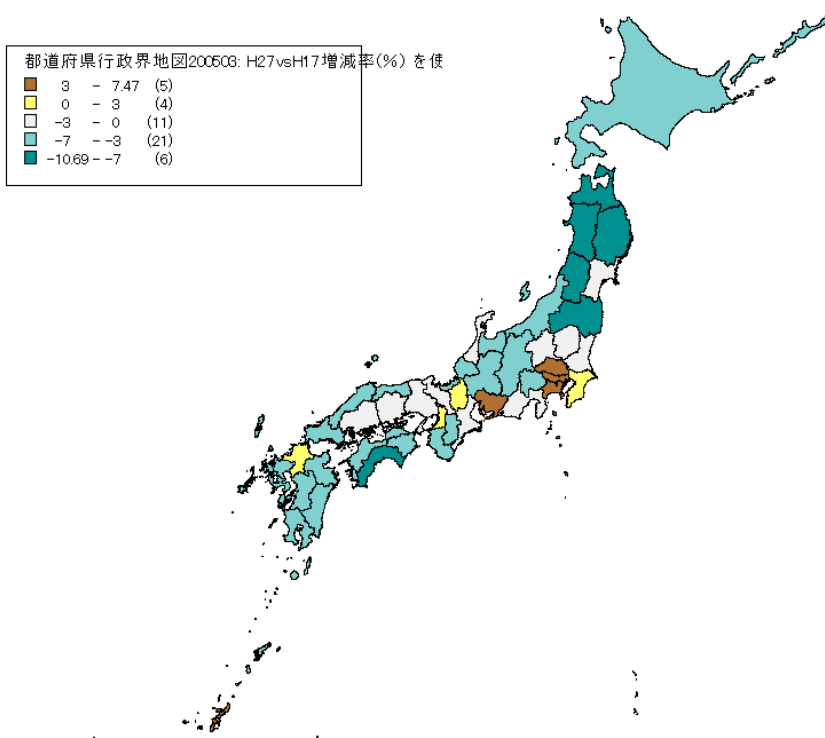
- 「グラフ①」を見ると、人口増減率がプラスで人口が増加している県は、東京都>沖縄県>神奈川県>愛知県>埼玉県>千葉県>滋賀県>福岡県>大阪府の 9 県です。この中で滋賀県が京都府に近いこともあって頑張っているのがわかります。大阪府は僅かにプラスであり、おおよそ現状維持の状態です。
 それ以外の県は全てマイナスです。



- 「グラフ②」で見ると、プラスの県の人口は“右肩上がり”ですが、マイナスの県は“右肩下がり”であることが判ります。

都道府県別 H27vsH17 人口増減率比較 (%)

主題図③



- 都道府県で色分けした「主題図③」で見ると、茶色の県が人口の増加率が著しく多い県（3%以上）で、東京都、沖縄県、神奈川県、愛知県、埼玉県の 5 県です。黄色の県が比較的多い県（0%～3%）で千葉県、滋賀県、福岡県、大阪府の 4 県です。一方、緑色のマイナス 7%以下が東北の宮城県を除く 5 県と高知県で、特に秋田県がマイナス 10%を下回る大幅な人口減に見舞われています。

<年齢区分別人口の推移>

人口データの年齢区分には、15歳未満、15～64歳、65歳以上というデータを集計しております。この区分別データを使うと事業に関わっている人たちや、定年を迎えた高齢者たちの分布を見ることができます。



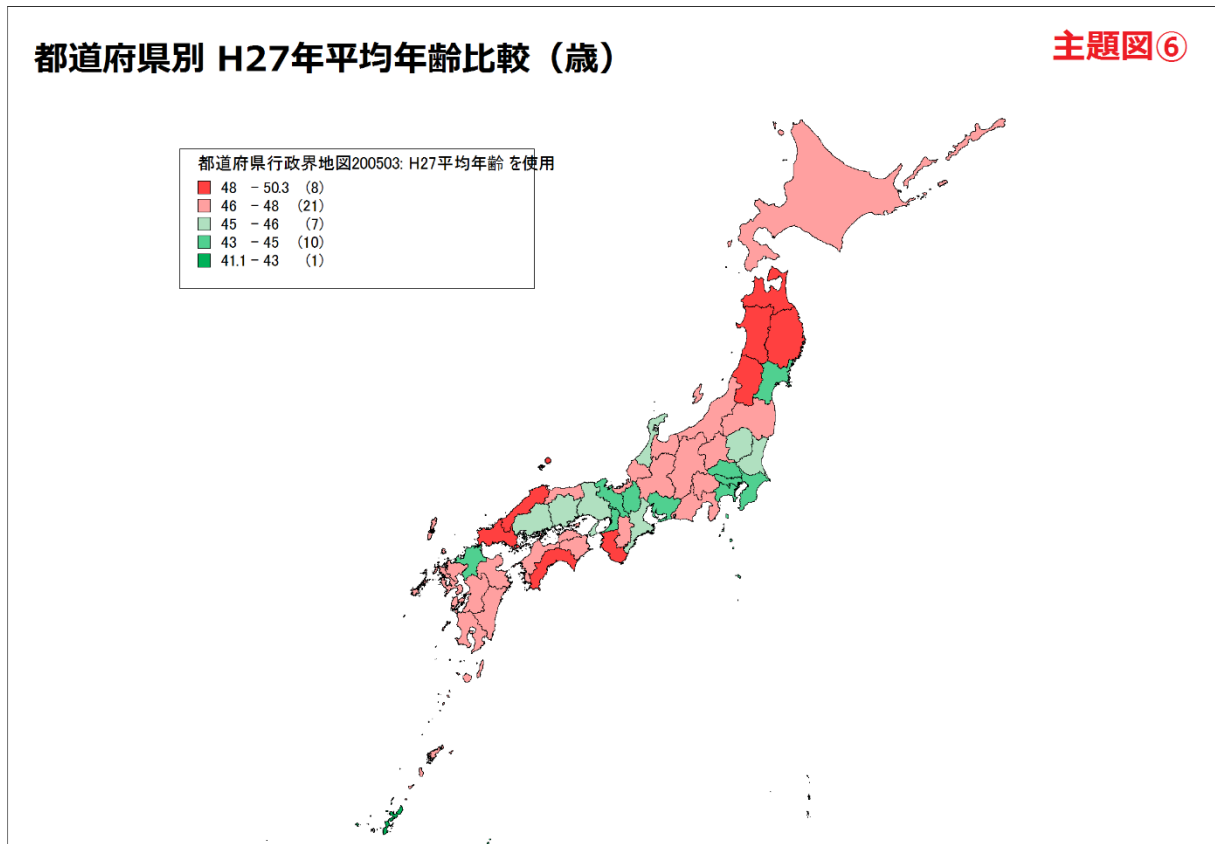
- 「グラフ④」を見ると、総人口は年々減っているのに 65歳以上の高齢者の数は年々増えています。一方 5歳未満、15～64歳の人口は減っています。これが現在注目されている少子化、高齢化社会ということが浮き彫りに現れています。



- 「グラフ⑤」で、65歳以上の内、75歳以上及び85以上の人口の推移を見ると、更に高齢化の進展が進んでいるのがわかります。今後団塊世代が今後高齢者とされる区分に入ってくるので、その傾向が徐々に現れているような様子が伺えます。

＜都道府県別の平均年齢＞

総年齢から総人口を割ることで県の平均年齢も調べることが出来ます。



- 「主題図⑥」は平成 27 年国勢調査の平均年齢で都道府県を色分けしたものです。これを見ると、首都圏、愛知県、近畿圏、福岡県、沖縄県の平均年齢が低いことが判り、人口の増加している県と対応しています。一方、宮城県、福島県を除く東北 4 県、和歌山県、島根県、山口県、高知県の平均年齢が高く、人口の減少している県に対応しています。ちなみに全国平均は 45.4 歳で主題図の薄緑の県が全国の平均に近い県となります。

今回は県別で比較しておりますが、これが市区町村別などでも比較検討することが出来ます。市区町村での分析をすれば、地域よっての偏りなども発見できるのではないかと思います。

このように人口データを使うと地域性や将来の傾向なども考えられたり、推測が出来たりしますので、分析すればするだけ知識も豊富になり、可能性も増えていきます。

主題図を作ることや、グラフを作成して、視覚的に情報をキャッチできることで、データ利用の幅も広がりを見せます。プレゼンや資料作成の際に、少し人口についてのお話などされる時など、とても理解しやすい内容でもあるので、耳を傾けて意識を掴むにはぴったりのテーマではないかと思います。